

オギノ食糧株式会社のサステナビリティ

今の私たちは未来の子供たちの先祖です。私たちの未来をよりよくしていくために。

オギノ食糧株式会社は、安心して食べられる商品の提供、地域の食文化の未来を支えていく使命を担い、「明るく、たくましく、正しく」を経営の基本理念としています。法令遵守の徹底、地球環境や社会に配慮したビジネス、客観性あるマネジメントを实践し、持続的成長を図り、人々の健康・地域の発展に貢献できる企業を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは、持続可能な開発目標の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰ひとりとして取り残さない事を誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサルなものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

取組方針① 地球環境・地域環境の保全と資源の有効活用

ゴミの削減(Reduce)、再利用(Reuse)、リサイクル(Recycle)をはじめ省エネ活動、森林保全活動(ペーパーレス化、FSC認証紙採用等)、環境保全や環境負荷低減につながる事業活動を实践の上、持続可能な地球環境・地域環境の実現に貢献します。



取組方針② 地域社会の持続的発展

事業活動や業界団体の活動を通じ、取引先・地域企業の付加価値向上や地域経済の持続的発展に貢献します。またフードロスの発生を削減し、フードバンクの有効活用を実施、子供たちへの食育も積極的に行い活力ある地域社会の実現に貢献します。



「食品ロスの削減」及び「食品を必要とされる方の支援」

弊社が寄付した食品は支援を必要とされている人や団体に配布されます。フードバンク活動は食品を必要とする方々への支援はもちろん、フードロスの削減にも貢献できます。



食糧支援活動の拠点、新山梨フードバンクセンター建設を、支援しています。

「次世代育成のための包括的な支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、市民が安心して子育てができる環境を整備するための事業を支援しています。

甲斐市の子育てを、支援しています。

令和5年2月28日【寄付金額】 300,000円

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	6 安全な水とトイレを世界中に 	11 住み続けられるまちづくりを 
16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナリシップで目標を達成しよう 	【寄附支援内容】 <ul style="list-style-type: none">●結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援●多様な教育システムに応じた教育の充実●地域と連携した子育て支援の充実			

オギノ食糧株式会社
代表取締役社長 荻野 大治 様

向春の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃、甲斐市行政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は、当市の「地域再生計画」にご賛同、ご寄附をいただきまして、誠にありがとうございました。ご寄附いただきました甲斐市企業版ふるさと応援寄附金につきましては、「次世代育成のための包括的な支援」のために活用させていただきます。

当市におきましては、地方創生の一層の強化に向けて、職員一丸となり邁進しているところであります。

末筆ながら、貴社のより一層のご発展をお祈り申し上げます。まずは略儀ながら、書面をもってご寄附の御礼を申し上げます。

令和5年2月28日

甲斐市長

保坂武 

「次世代育成のための包括的な支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、市民が安心して子育てができる環境を整備するための事業を支援しています。

昭和町の子育てを、支援しています。

令和5年12月22日【寄付金額】1,000,000円



オギノ食糧 昭和町に寄付

企業版ふるさと納税活用

オギノ食糧(甲府市徳行5丁目、荻野大治社長)は22日、企業版ふるさと納税制度を活用し、昭和町に100万円を寄付した。町が同制度で寄付金を受け取るのは初めて。

同社は県内全域に給食用の食材を納品している。町によると、寄付金は子どもの健全育成の充実に向けて活用する予定。

町役場で行われた贈呈式では、荻野社長が塩沢浩町長に目録を手渡した。塩沢町長は「町にとって第1号の寄付金で大変うれ

しく思う。適切かつ有効に使いたい」とあいさつ。荻野社長は「町民の皆さまが安心して子育てできるように活用してほしい」と話した。(井村賢紳)



目録を手渡す荻野大治社長(左) 昭和町役場

【新聞掲載記事】



「人の流れをつくり地域経済を創生する事業の支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、強力な観光推進体制の構築、音楽のまちづくり、富士桜まつり、世界遺産・富士山への誘客プロモーション、富士河口湖町大収穫祭など、地域の魅力を活かした事業。町の情報発信の強化、宿泊環境の充実に向けた取組を推進整備するための事業を支援しています。

富士河口湖町まち・ひと・しごと創生推進計画を支援しています。

令和5年12月22日【寄付金額】1,000,000円



「次世代育成のための包括的な支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、子育て中の市民(保護者)に対し、経済的な負担軽減を図るため、主食費と副食費の無償化を実施し、子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実に支援しています。

富士吉田市の子育て見守り事業を、支援しています。

令和7年2月18日【寄付金額】1,000,000円



「次世代育成のための包括的な支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、保育士の確保や保育施設の充実により、子育て世帯が安心して子どもを預けられ、保護者の経済的支援も行っていくため、子どもの健やかな成長とともに安心して子育てができる環境作りを支援しています。

市川三郷町の子育てを、支援しています。

令和7年2月18日【寄付金額】1,000,000円



企業版ふるさと納税
オギノ食糧に感謝状

市川三郷町は、企業版ふるさと納税制度を活用して町に寄付金100万円を贈ったオギノ食糧(甲府市、荻野大治社長)に感謝状を贈った写真。

町政策推進課によると、同社は町に給食用の食材を納品していることから寄付。2月18日に町役場で行われた贈呈式で、遠藤浩町長が荻野社長に感謝状を手渡した。荻野社長は「子育て支援に役立ててほしい」と話した。寄付金は公立保育所の運営事業費として活用する。

〈深沢澤〉

市川三郷町

【新聞掲載記事】

「稼ぐ地域を作るとともに、安心して働けるようにする事業を支援」

企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)を活用し、人口の社会増を実現するため、移住促進、観光誘客、多様な体験型プログラムの提供を通じて町へのきっかけを創出する事業を支援しています。

山中湖村の観光・合宿の誘致事業を、支援しています。

令和7年2月21日【寄付金額】1,000,000円



別記様式第3 (第14条関係)

山湖未政発第3-7号
令和7年3月7日

オギノ食糧株式会社
代表取締役 荻野大治 様

山中湖村長 高村正一郎



受領証

地域再生法第13条の2に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附として、下記の寄附を受領したことを証明する。

記

1. 事業の名称 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする事業
2. 寄附年月日 令和7年2月21日
3. 寄附金額 金1,000,000円

環境と安全に配慮した取り組み

全配送車両に通信型ドライブレコーダーを取り付けております。急発進・急ブレーキ・急ハンドルなどの運行にかかる負荷・速度・時間・危険運転等を記録しデータ化し、燃料消費(CO2排出量)の削減及び乗務員の安全を考慮した適切な運転指導を行い、セーフティドライブの推進に努めています。



環境に配慮したPEFC認証紙を使用

PEFC認証とは、世界的な違法伐採による森林の劣化や現象を防ぎ、持続可能な森林管理を実現するため、「適切な森林管理」を認証する国際的な制度です。



名刺用紙を古紙配合名刺に変更

【紙のリサイクルで森林資源の節約に貢献】再生紙は、古紙パルプを原料に使用してつくられています。古紙を紙の原料として再利用することは、紙ごみを資源として甦らせ、森林資源を節約することにつながります。



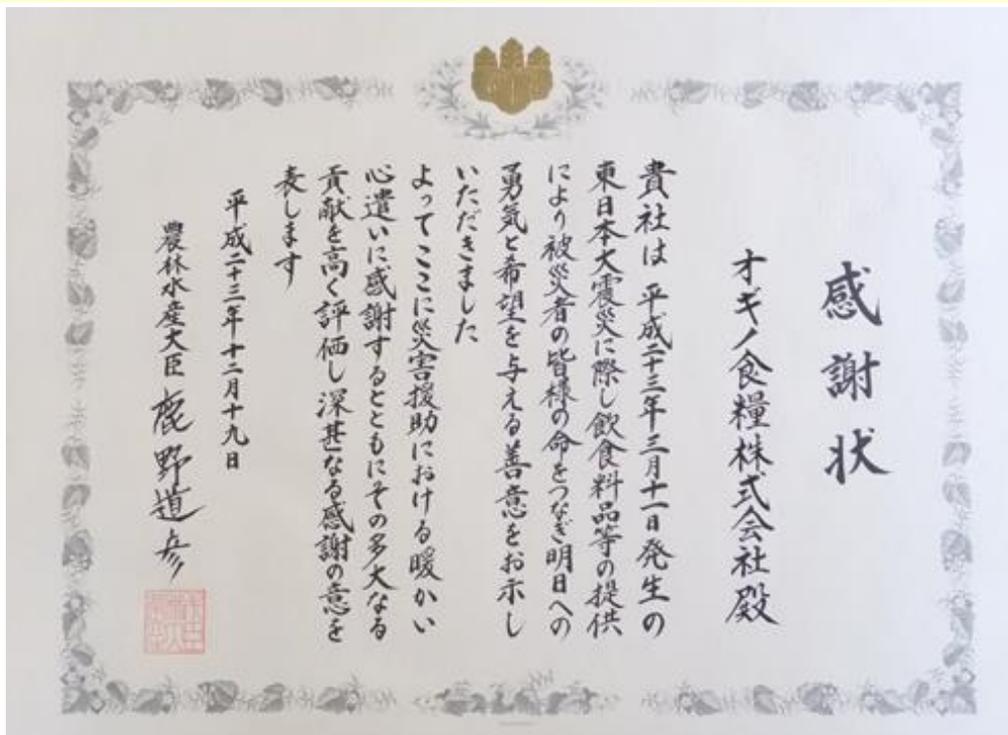
地域に深く根差した企業として、魅力ある地域づくりに取り組んでいます。

自社建屋周辺の清掃活動を行い、地域の美化に努めています。



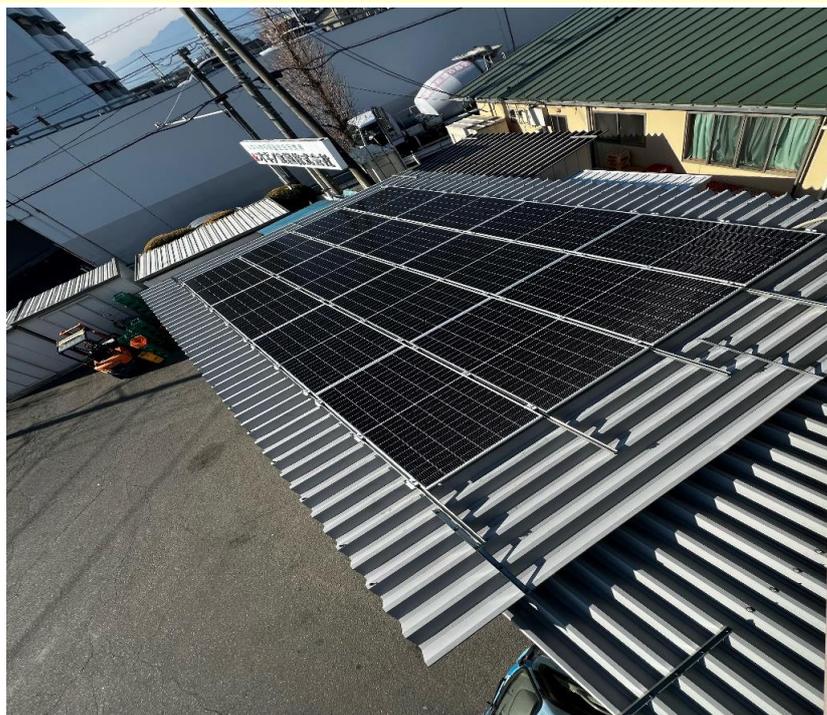
食のライフラインを支える企業としての役割

「2014年山梨県豪雪」、「2011年東日本大震災」、の災害時においてオギノ食糧はいち早く救援体制を整え、必要とされる救援物資を各所へお届け致しました。



地球温暖化防止(SDGsでエネルギーをみんなにそしてクリーンに)

再生可能エネルギーである太陽光を使用した発電には二酸化炭素を排出しないという大きなメリットがあり、SDGsの7つ目の目標達成のために大きな役割を担うものと考えられます。



【倉庫の屋上に太陽光発電パネルを設置】今回設置した太陽光パネルは6.8kW、1kWあたり年間約1000kWhを発電しますので、年間約7000kWhが削減されます。